



# IYC2025ニュース第7号

2025年2月12日発行

編集  
・  
発行

2025国際協同組合年全国実行委員会 <https://www.japan.coop/iyc2025/>

事務局 一般社団法人 日本協同組合連携機構  
東京都新宿区市谷船河原町11番地 飯田橋レインボービル5階  
E-mail:iyc2025@japan.coop TEL:03-6280-7254



## 【contents①】

- ① 2025国際協同組合年キックオフイベント オンライン参加のご案内  
【再掲】
- ② 2025国際協同組合年広報資材・ノベルティグッズ 第3次受注のご案内
- ③ 2025国際協同組合年パンフレットを改訂しました
- ④ 2025国際協同組合年リーフレットを発行しました
- ⑤ 動画「IYC2025を契機に協同組合について発信しましょう！」を作成しました
- ⑥ 動画・学習用資材「IYC2025および協同組合のアイデンティティを学びましょう！」を作成しました
- ⑦ 2025国際協同組合年説明用タペストリーを作成しました

## 【contents②】

### ③全国各地の2025国際協同組合年の取り組み

- 全国大学生協連 学生委員の力で国際協同組合年の「Better World」を話し合い
- IYC福島県実行委員会がスタート～福島で絆シンポジウム・絆塾を開催
- tvk(テレビ神奈川)「かながわ旬菜ナビ」で「2025国際協同組合年」をテーマにした番組が放送されました
- 愛媛県で交流集会を開催―国際協同組合年がスタート
- 2025国際協同組合年新潟県実行委員会発足式が開催されました

## ①2025国際協同組合年キックオフイベント(2月19日) オンライン参加のご案内【再掲】

\*2月14日（金）までにお申し込みください

国連は、2025年を国際協同組合年 (International Year of Cooperatives : IYC) に定めました。2025国際協同組合年(IYC2025)のスタートを日本全国の協同組合関係者がアジア太平洋地域の協同組合の仲間とともに祝うとともに、「2025国際協同組合年をどのように捉え、進めるのか」について深め合い、共有し、活動方針を確認するキックオフイベントを開催します。

2025国際協同組合年の取り組みを、それぞれの協同組合でより豊かに広げていくために、ぜひともご参加ください。

1. 日時：2025年2月19日（水）13:00～16:00

2. 会場：国連大学ウ・タント国際会議場（東京・青山）

3. 主催(共催)：2025国際協同組合年全国実行委員会、国際協同組合同盟アジア太平洋地域 (ICA-AP) 、国際労働機関 (ILO) 駐日事務所

4. 参加形態：Zoomによるオンライン配信

5. 申込方法：こちらのフォームから2月14日（金）までにお申し込みください。<https://ws.formzu.net/fgen/S90394913/>

\*2月18日（火）までにZoomのURL、資料等を頂いたメールアドレスにお送りします。

6. 内容(変更になることがあります)：



- 開会あいさつ：山野徹 IYC2025 全国実行委員会代表（JCA 会長/JA 全中会長）
- グテーレス国連事務総長ビデオメッセージ
- 日本国政府あいさつ
- 協同組合振興研究議連会長あいさつ
- アリエル・グアルコ ICA 会長ビデオメッセージ
- ヤダフ ICA-AP 会長あいさつ
- 高崎真一 ILO 駐日代表あいさつ
- ショート・プレゼンテーション「IYC2025 の意義」：シメル・エシム ILO 協同組合・社会的連帯経済ユニット長
- ICA-AP 会員国の活動計画紹介
- ICA-AP 青年代表および日本の大学生協からのプレゼンテーション
- 茨城県、島根県の県域協同組合連携組織「IYC2025 をどのように捉え、どのように進めるのか」報告
- 「私と協同組合」「協同組合があつて良かったこと」「こんな協同組合にしたい」「私にとっての IYC2025」動画（短時間）の上映  
日本の農業協同組合、生活協同組合、漁業協同組合、森林組合、労働者協同組合、労働金庫、ネパール、フィリピンの協同組合から
- IYC2025 全国実行委員会行動提起
- 閉会あいさつ：新井ちとせ・ICA-AP 理事（JCA 理事/日本生協連副会長）

7. その他: 当日の内容は後日YouTubeにて配信します。 視聴方法は2025国際協同組合年全国実行委員会のウェブサイトにてご案内します。

<https://www.japan.coop/iyc2025/>

## ②2025国際協同組合年広報資材・ノベルティグッズ 第3次受注のご案内

2025国際協同組合年広報資材・ノベルティグッズにつきまして第3次受注として、4月30日（水）まで受付を延長することしました。IYCや協同組合の意義を深めるためのツールとして活用し、全国での実践を進めていきましょう。多くのご注文をお待ちしています。

第3次受注期間は準備ができ次第の順次発送となります。 詳細なスケジュールは、以下の図の通りです。

なお、各種協同組合を説明するタペストリー（A1サイズ、10枚）につきましては貸し出しあっておりまます。お申し込みは日本協同組合連携機構 IYC2025事務局までお願いします。

## ＜注文時期＞

※2月3日（月）第3次受注開始

2月～4月上旬

通常の場合

準備ができ次第、順次発送

※おおむね、1～2週間程度で発送。お急ぎや  
日時指定は応相談。

在庫切れの場合

増産で対応。準備ができ次第、順次発送

※増産分の納期に合わせて、日時応相談

4月中下旬

準備ができ次第、順次発送

※締め切り付近の注文数によって、発送が遅れる  
可能性有。遅くとも5月中下旬までにお届け

※お急ぎや日時指定は、申込時に記載

その他詳細は、「国際協同組合年（IYC）関連グッズのあっせん」のページにてご確認  
ください。<https://www.ienohikari.net/iyc>

\*具体的な納品希望日がある場合は、お申し込みの際に忘れずに記入をお願いします。  
可能な範囲で対応いたします。

### 【お問い合わせ先】

①注文・納品・支払いに関して：

（一社）家の光協会 制作本部 制作・広告部

Eメール：[iyc2025@ienohikari.or.jp](mailto:iyc2025@ienohikari.or.jp) 電話：03-3266-9045

FAX：03-3266-9046

②広報資材およびノベルティグッズの内容や活用等に関して：

（一社）日本協同組合連携機構 IYC2025事務局（担当：高山・大菊）

Eメール：[iyc2025@japan.coop](mailto:iyc2025@japan.coop) 電話：03-6280-7254

## ③2025国際協同組合年パンフレットを改訂しました

IYC2025ロゴの発表、IYC2025イラストの確定などを受けて、「協同組合がやって  
くる。」パンフレットの改訂版としてIYC2025パンフレットを発行しました。（A4サ  
イズ、12ページ）

### 目的は？

このパンフレットは、協同組合の組合員および役職員を対象として、2025年国際  
協同組合年における学習用資材として作成したものです。

## どんな内容？

「2025国際協同組合年」(IYC2025)について解説するとともに、協同組合のアイデンティティを「学ぶ、実践する、発信する」運動への参加を呼びかけ、それが、協同組合への理解や共感を広げ、協同組合の組合員や事業利用者を大きく広げていくことを期待しています。

## どんな使い方？

いろいろな場面で、各組織で自由に活用していただけけるようPDFで提供しています。パンフレットを部分的に抜粋して使用することも可能です。例えば、県域版を作成される際に部分的に抜粋してご使用いただけます。ただし、イラスト、写真について、IYC2025の周知や協同組合学習などパンフレット以外での使用はお控えください。

ダウンロードはこちら

<https://www.japan.coop/wp/wp-content/uploads/2025/02/f90a960c68afcb3ece780b7db2037847.pdf>

## ④2025国際協同組合年リーフレットを発行しました

IYC2025に関心を持った幅広い方々に、2025年国際協同組合年や協同組合について知っていただくためにIYC2025リーフレット(A4・巻き三つ折り)を発行しましたのでご活用をお願いします。

イラストを交え、以下を説明しています。

- 協同組合は組合員が力を合わせて共通する願いを実現する組織です
- 協同組合は持続可能な開発目標(SDGs)に貢献しています
- 国際協同組合年は、SDGsに貢献する協同組合の認知を高め、発展させるために制定されました
- 世界中の協同組合は国際協同組合同盟(ICA)」が定め



今年、2025年は  
**国際協同組合年**  
です

国連は、国際社会が一年を通じて共通の課題に取り組む「国際年」を毎年制定しています。

世界中で深刻な課題が山積する中、今年2025年は「国際協同組合年」  
"International Year of Cooperatives" (IYC)と定められました。  
それはなぜでしょうか?



国際協同組合年  
協同組合はよりよい世界を築きます

た「協同組合にアイデンティティに関するICA声明」に基づいて運営されています

いろいろな場面で、各組織で自由に活用していただけるようPDFで提供しています。

\*ダウンロードはこちら

<https://www.japan.coop/wp/wp-content/uploads/2025/02/fbc139359ebb6ec296a3b5e0c77a2d77.pdf>

## ⑤動画「IYC2025を契機に協同組合について発信しましょう！」を作成しました

自組織の役職員・組合員に対し、IYC2025のバッヂをつけるなどの指示した際などに、この動画を活用してIYC2025を学び・発信する動機付けのための1分46秒の動画です。

朝礼、昼休み、会議の冒頭等に流すなどご活用ください。



\*動画はこちら

<https://youtu.be/WU61-WAH4qE>

## ⑥動画・学習用資材「IYC2025および協同組合のアイデンティティを学びましょう！」を作成しました

「IYC2025を学ぶ」、「協同組合のアイデンティティ」について説明する30分24秒の動画を作成しました。

また、学習用資材(PowerPoint)は、上記の動画に対応した「IYC2025を学ぶ」、「協同組合のアイデンティティ」に加え「グループワーク」の3部構成の資料としており、説明者用のメモを付しています。各組織の研修会等の実情に合わせて、スライドや説明用メモを修正するなどしてご活用ください。

\*動画はこちら

[https://youtu.be/Znb\\_n0APGPw](https://youtu.be/Znb_n0APGPw)

\*学習用資材はこちら

<https://www.japan.coop/wp/wp-content/uploads/2025/01/0b9dcdb7be283aaaf2243150ed6f1eb7e.pptx>

## ⑦2025国際協同組合年説明用タペストリーを作成しました

IYC2025に関心を持った幅広い方々に、2025年国際協同組合年や協同組合について知っていただくためのタペストリー（B0サイズ・6枚）を作成しました。貸出を行いますのでIYC2025に関するイベント等でご活用ください。内容はIYC2025リーフレットと対応しています。

貸出のお申し込みは（一社）日本協同組合連携機構 IYC2025事務局（担当：藤田）までお願いします。

Eメール：[iyc2025@japan.coop](mailto:iyc2025@japan.coop)

電話：03-6280-7254

### 今年、2025年は国際協同組合年です

国連は、国際社会が一年を通じて共通の課題を取り組む「国際年」を毎年制定しています。  
全世界で深刻な課題が山積する中、今年2025年が「国際協同組合年」  
"International Year of Cooperatives: IYC" と定められました。それはなぜでしょうか？

### 協同組合は組合員が力を合わせて共通する願いを実現する組織です

農業協同組合、漁業協同組合、森林組合、生活協同組合、労働者協同組合、労働金庫など、さまざまな種類の協同組合があります。

いずれの協同組合も、人々が自発的に組合員となり、相互扶助（助け合い）の精神に基づき、協力して事業を営み、共通の願いを実現し、課題を解決する組織です。



### 世界中の協同組合は

国際協同組合同盟（ICA）が定めた  
「協同組合のアイデンティティに関する  
ICA声明」に基づいて運営されています

#### 定義

協同組合は、人びとの自治的な組織であり、自発的に手を結んだ人びとが、共同で所有し民主的に管理する事業体を通じて、共通の経済的、社会的、文化的なニーズと願いをかなえることを目的とする。

#### 価値

協同組合は、自助、自己責任、民主主義、平等、公正、連帯という価値を基礎とする。協同組合の創設者たちの伝統を受け継ぎ、協同組合の組合員は、正直、公開、社会的責任、他人への配慮という倫理的価値を信条とする。

#### 原則

協同組合原則は、協同組合がその価値を実践するための指針である。



詳しくはこちら

- 第1原則…自発的で開かれた組合員制
- 第2原則…組合員による民主的管理
- 第3原則…組合員の経済的参加
- 第4原則…自治と自立
- 第5原則…教育、研修、広報
- 第6原則…協同組合間協同
- 第7原則…地域社会への関与

## 協同組合は持続可能な開発目標(SDGs)に貢献しています

「持続可能な開発目標(SDGs)」は、貧困や飢餓、不平等、気候変動、紛争などの課題を解決し、すべての人々が平和と豊かさを享受できる世界を実現するための国際的な目標です。

協同組合は持続可能な生産と消費、食料安全保障、気候変動対策、地域の人々への医療・福祉、働きがいのある人間らしい仕事の創出、すべての人が参加できる社会づくりなど、さまざまな分野でSDGsに貢献しています。



さまざまな協同組合への人々の参加が、地域社会を豊かにしています。

## 国際協同組合年は、SDGsに貢献する協同組合の認知を高め、発展させるために制定されました

国連が2025年を「国際協同組合年」としたのは、協同組合がSDGsに貢献をしていることを多くの方々に知っていただき、協同組合を振興する(盛り立てる)ためです。

グテーレス国連事務総長は世界の協同組合へのメッセージの中で「私たちの世界が複雑な課題に直面し、SDGsの達成に向け取り組むなかで、皆さまの団結した努力は不可欠です」と語っています。



グテーレス国連事務総長のメッセージ動画はこちら



## 協同組合はよりよい世界を築きます Cooperatives Build a Better World

協同組合は国際協同組合年を機に、地域社会の課題解決や持続可能な開発目標(SDGs)へのいっそうの貢献と、協同組合への理解の促進、認知の向上をめざす取り組みを進めています。



国際協同組合年を取り組みはこちら

### 2025国際協同組合年ロゴ



### 国際協同組合年

協同組合はよりよい世界を築きます

#### 形

よりよい世界を築くために世界中の人々が互いに結びつき、団結している様子を表しています。

#### 色

持続可能な開発目標(SDGs)のアイコンの色から構成されており、赤は社会、青は経済、緑は環境を、合わせてSDGsへの協同組合の貢献を表しています。

## 数字で見る世界と日本の協同組合

### 世界

- 世界には300万の協同組合があり、組合員は人類の12%以上、10億人に上ります。
- 協同組合は、世界中の2億8000万人、世界の就労人口の10%に仕事や就労機会を提供しています。
- 規模の大きな300の協同組合等の総売上高は2兆4,094億1,000万米ドル<sup>(注)</sup>に上ります。  
(注)世界協同組合モニター(2023年)

### 日本

(2021事業年度協同組合統計書より作成)

組合員数  
延べ  
**1億820万人**  
(複数の協同組合に加入している場合は重複して計上しています)

常勤役職員数  
**54万人**

事業全体  
協同組合が生み出す  
付加価値額  
**4兆9千億円**  
注: 1社1組合の場合は、売上高・販売社員・社員・役員・組合員

購買事業  
協同組合の  
食料品・生活用品供給高  
**4兆円**

販売事業  
国内農林水産業産出額の  
**半分超が**  
注: 1社1組合の場合は、売上高・販売社員・社員・役員・組合員

信用事業  
国内の預貯金額の  
**22%が**  
注: 1社1組合の場合は、販売社員・社員・役員・組合員

## ⑧全国各地の2025国際協同組合年の取り組み

### ● 全国大学生協連 学生委員の力で国際協同組合年の「Better World」を話し合い

2024年12月14日（土）～12月15日（日）、全国大学生協連の第68回通常総会・パワーアップ交流会が開催されました。パワーアップ交流会では、2025年の国際協同組合年(IYC2025)のテーマ「Cooperatives Build a Better World」に基づき『大学生協のBetter World』を考える時間を学生委員の皆さんがつくりました。

はじめに、高須啓太総会実行委員長による課題提起が行われました。つづいて、JCA協同組合連携2部の青木連携推進マネージャーが「大学生協の国際協同組合年」と題して、大学生協が世界から期待される背景や日本で果たしている役割・貢献について話をしました。

さいごに、大学生協が「Better World」をつくっていると感じる事業や活動を取り上げて、どのように地域や社会をより良くしているか参加者どうして話し合いました。

全国大学生協連では、8月29日に開催された全国学生委員長セミナーでも、国際協同組合同盟（ICA）ユルーン・ダグラス事務局長、国際協同組合同盟アジア太平洋地域

（ICA-AP）バル・アイヤー事務局長との意見交換を通して、IYC2025への理解を深め、全国の大学生協での実践につなげています。



### ● IYC 福島県実行委員会がスタート～福島で絆シンポジウム・絆塾を開催

2024年12月16日、地産地消運動促進ふくしま協同組合協議会（以下、地産地消ふくしまネット）の主催で令和6年度絆シンポジウムが開催されました。今回はIYC2025福島県実行委員会キックオフイベントを兼ねて実施され、全体で144名が参加しました。

主催者挨拶の後、地産地消ふくしまネットの幹事であるJA福島中央会の今泉仁寿常務理事より、IYC福島県実行委員会の構成と規約が提案され、これらの確認と共に「キックオフ宣言」がなされました。

これを受け JCA 伊藤治郎常務が「2回目の国際協同組合年～IYC2025に向けて」と題する講演を行い、IYC2025を契機とした協同組合の連携強化を呼びかけました。

続いて多くの人のくらしと生業に関わる食育をテーマに、農林水産省消費・安全局消費者行政・食育課の堂脇義音課長補佐による講演「食育の価値～地域とともにつくる～」

が行われました。その後、「協同組合が取り組む食育について」をテーマとしたパネルディスカッションが開かれました。ここでは、JCA の加藤美紀主席研究員がコーディネーターを務め、パネリストに JA 農産物直売所の石塚理璃愛さん、生協連の池端美雪理事、市内の小学校で農業科を推進している喜多方市の中野富全課長補佐、県 PTA 連合会から安彦三枝子さんを迎える、それぞれの立場での取り組みについての報告や実感のこもった貴重な意見が交わされました。



開会挨拶する森林組合連合会 田子代表理事会長



キックオフ宣言をする今泉幹事



パネルディスカッションの様子

翌日は各協同組合から職員・組合員が集う「絆塾」が開催され、14 組織 27 人が参加しました。JCA 亀田篤子マネージャーの進行のもと、「協同組合のどんなところがすごいのか」を考え「IYC をきっかけに協同組合を説明しよう」をテーマにグループワークを行いました。参加者は所属する組織によって事業や仕事は異なるものの、IYC をきっかけに「協同組合とは何か」を掘り下げ、共通点を探る熱心な話し合いがなされました。

## ● tvk(テレビ神奈川)「かながわ旬菜ナビ」で「2025 国際協同組合年」をテーマにした番組が放送されました

JA グループ神奈川が提供する tvk (テレビ神奈川) の番組「かながわ旬菜ナビ」では、2025 年の国際協同組合年 (IYC2025) にあわせ、「未来につながる協同の輪 ~2025 国際協同組合年~」と題し、神奈川県内における協同組合組織と協同組合間連携の取り組みなどが紹介されました。

放送日：2025 年 1 月 5 日 (日) 9:00～9:30

再放送 1 月 6 日 (月) 10:00～10:30 tvk 公式 YouTube チャンネルで配信中。

番組には、JA 神奈川県中央会の平本光男会長、神奈川県生協連の當具伸一会長、当機構の小島愛美マネージャーが出演し、IYC2025 や協同組合の魅力、連携の意義について語られました。



\* 動画はこちら

<https://youtu.be/0eZMYmP2550>



旬菜キヤッチャーの坂井美萌々さん、JA 神奈川県中央会の平本光男会長、神奈川県生協連の當具伸一会長、JCA の小島愛美マネージャー

## ● 愛媛県で交流集会を開催—国際協同組合年がスタート

1月8日（水）、愛媛県内の協同組合の役職員約90名が集まり「国際協同組合年—愛媛交流集会」が開催されました。この交流集会は、県内9つの協同組合で構成する愛媛県協同組合協議会（EJC）が主催し、IYC2025全国実行委員会の認定事業にもなっています。

EJCは、この交流集会を国際協同組合年のキックオフイベントとして位置づけ、県独自のIYC取り組みテーマを「地域とともに、広がれ！つながれ！愛媛の協同×SDGs」として採択しました。

当日は、EJC事務局の黒河安徳審査役（JA愛媛中央会）が、2013年より取り組んでいる愛媛大学での協同組合講座について報告しました。また、担当教員の西脇秀一郎准教授もVTRで出演し、協同組合と大学が協力して講座を運営する意義や受講している学生の様子を参加者に伝えました。

続いて、JCA常務理事の伊藤治郎が「2025国際協同組合年と協同組合のアイデンティティ」というテーマで記念講演を行いました。参加者からは「協同組合が必要だということを自分の言葉で伝えたい」や「若い世代は協同組合を意識する機会が少ないので、IYCを契機にPRを強めたい」などの感想が寄せられました。

県内の協同組合は、今回の交流集会を契機に国際協同組合年の諸活動をスタートします。EJCでは、協同組合の理解促進や協同組合のアイデンティティ改定の周知活動に今後取り組むこととしています。



参加者へ挨拶する西本満俊EJC議長（JA愛媛中央会）



記念講演する伊藤治郎常務理事（JCA）

## ● 2025国際協同組合年新潟県実行委員会発足式が開催されました

2025年2月3日（月）、新潟市のJA新潟ビルにて2025国際協同組合年新潟県実行委員会（IYC2025新潟）の発足式が開催されました。IYC2025新潟の委員、幹事、事務局など約50名が参加しました。

IYC2025新潟は、新潟県協同組合間提携推進協議会（提携協）を母体とした16団体により構成され、2025年の国際協同組合年にあたり、協同組合の価値や協同組合が現代社会で果たしている役割等について、広く県民に認知されるよう取り組みを行うとともに、協同組合運動を促進させる取り組みを行うことを目的に発足しました。

発足式では、IYC2025新潟の構成、事業計画などを決定したほか、アントニオ・グテレス国連事務総長のメッセージ動画とIYC2025全国実行委員会山野徹代表・土屋敏夫副代表による周知動画を視聴しました。また、日本協同組合連携機構（JCA）佐藤涉業務執行理事が「2回目の国際協同組合年～IYC2025の取り組みと目指すもの～」について説明を行いました。

事業計画においては、2025年7月7日（月）に「2025国際協同組合年in新潟 記念講演会」の開催や、「協同組合まつり」における地域へのPR、IYC2025新潟としての事業認定・後援などの実施が予定されています。

IYC2025新潟では、国連が定めた国際協同組合年を契機に新潟県民に協同組合の意義や価値を広く呼びかけ、協同組合の価値を高めるため、取り組みを進めてまいります。



委員長に選任されたJA新潟中央会 伊藤代表  
理事会長（右）と、副委員長に選任された新潟  
県生協連 登坂会長理事（左）



情勢報告をするJCA 佐藤業務執行理事